



田中正伸さん(中)、田中博貴さん(右)



樹齢50年で木を更新する改植をしています



音声でサイズを教えてくれるはかりで業務を効率化



梨の販売時期：8月上旬～9月中旬



シャインマスカットの販売時期：9月上旬～下旬

育成中のシャインマスカット「畑のエメラルド」

市長の事業者訪問

FACE to FACE 22

田中 正伸さん(田中農園)
所在地/上南畑524

市の特産品の一つである梨。今回は上南畑で梨を栽培する田中農園を訪問し、梨を中心とした農業経営や次世代の取り組みについて話を伺いました。

贈答用にも人気の梨

田中農園が梨の栽培を始めたのは昭和37年。当時、南畑地域には今よりもたくさんの梨農家があり、共同出荷所を作るほど盛んで、東京都築鴨の豊島市場まで出荷していたそうです。市場まで3輪自動車で行ったところ志村坂が上れなかったとのエピソードを交えて話してくれました。現在は直売所のほかJAいるま野に出荷しています。直売所では、贈答用として宅配便の依頼が徐々に多くなり、北は北海道の利尻島、南は沖縄県の竹富島まで送られています。

田中農園では、酸味が少なく甘いシャキシャキした食感が特徴の幸水のほか、さっぱりした甘さで水分が多くみずみずしさが特徴の豊水など複数の品種を栽培して繁忙期が分

散するように工夫しています。

「ららぽーと富士見にある、いるマルシェには『田中さんの梨』として陳列してもらい、ほぼ毎日完売しているんですよ」と正伸さんが教えてくれました。

次世代が梨以外にもチャレンジ

1日の収穫量は500～700kgもあるといいます。「足跡の数が増えるというのは商売みんな一緒だと思います。大変ではありますが精一杯やっていただけです」と正伸さんは語ります。

梨のほかにも、長男の博貴さんと次男の康祐さんが中心となって8年ほど前からシャインマスカットの栽培を始め、「畑のエメラルド」と名づけられ商標登録もされているブドウは毎年楽しみにしているリピーターもいるほど好評です。

今回の訪問を通じて、本市自慢の特産品を広くPRするとともに、新たなことにチャレンジする農業者の支援に力を入れていきたいと考えています。

市公式ホームページ



SNS



LINE
Facebook
X(Twitter)
Instagram
YouTube



【カタログポケット】広報「富士見」を多言語で



【マチイロ】広報「富士見」をスマートフォンで



【テレ玉データ放送】テレ玉(地デジ3ch)視聴中にdボタンで市の情報を視聴

人口と世帯数(9月1日現在)

人口…113,143人(前月比 -19人)
(男 55,492人 女 57,651人)
世帯数…55,076世帯(前月比 +34世帯)

みんな笑顔☆ふじみ ☎ 049-251-2711(代)

富士見市

FAX 049-254-2000

〒354-8511

富士見市大字鶴馬1800-1



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



富士見市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

